創業100周年を迎えた合同衛生株式会社

大正10（1921）年の創業以来、大阪のまちとともに歩みながら環境保全に邁進してきた合同衛生株式会社。今年4月に迎えた100周年にあたり、林博之社長に大阪のまちの環境保全にかける思い、事業への取り組み、今後のビジョンについて聞いた。

環境保全のエキスパートとして

停滞することが許されない仕事

――100周年を迎えた今のお気持ちは

「支えていただいている取引先、社員、地域の皆さまのおかげで100周年という大きな節目を迎えることができました。私たちの仕事は決して目立つことはありませんが、大阪のまちを清潔に保つエッセンシャルワークであることに誇りを持って日々取り組んできました。大阪のまちはこれからも変化していくと思いますが、私たちの思いはこれからも変わることはありません」

――コロナ禍での状況下、どのような思いで取り組んでおられますか

「廃棄物の回収は、365日24時間、停滞することが許されない仕事です。電気、ガス、水道と同じように社会の維持に欠かせないライフラインを担っていることを常に意識しています。コロナ禍の現状、廃棄物の収集にあたる現場のスタッフには本当に苦労をかけています。対策は徹底していますが、目に見えない感染に対する不安と戦っていかなくてはなりません。そのようななか、お客さまから現場で感謝の言葉をかけていただいたり、感謝の手紙を会社に届けていただいたりすることが大きな支えになっています。コロナ禍は私たちにとっても廃棄物回収という仕事の大切さを再認識させてくれたように思います」

はやし・ひろゆき　合同衛生株式会社代表取締役社長、平成3年4月、合同衛生入社。収集運搬部、営業部、経理部を経て、17年3月から現職。29年5月から一般社団法人大阪市一般廃棄物適正処理協会代表理事、大阪市清掃連合協同組合理事長を務める。大阪市出身、51歳。

――廃棄物の総量が減少するなか、重視していく事業は

「平成17年、35歳のときに第5代社長に就任しましたが、就任前から社会の潮流は大量生産・大量消費からいかに廃棄物を減らすかに変化していました。廃棄物のなかから資源を取り出して再利用する循環型社会の本格化を見据え、リサイクルには強い関心を持ち続けています。大阪市西成区で地域の皆さまにご協力いただいて平成24年4月に第1工場、3年後に第2工場を開設したリサイクルセンターCombiではペットボトルをはじめ、ビン、缶、発泡スチロール、古紙を処理、再生しています。再生した資材の活用方法も含め、時代の変化に対応しながら進化し続けていきたいと考えています」

――業界団体を通じた社会貢献に力を入れていますね

「業界全体で大阪のまちを良くすることに何かできないかという思いで取り組んでいます。一般社団法人大阪市一般廃棄物適正処理協会では、子どもたちに公園の砂場で安心して遊んでもらえるようにするための清掃活動を定期的に実施。また、ペットボトルのキャップを回収して得た収益を医療、教育、文化、環境保護を充実することに活用していただくライフキャップ運動も行っています」

――2025年には大阪・関西万博が開催されます

「私は前回の大阪万博の年に生まれました。2025年に再び、大阪で万博が開催されることに不思議な縁と大きな喜びを感じています。万博はなんとしても成功させなければならないイベント。機運の盛り上げに協力することはもちろん、会社としても万博を目標に新しい取り組みに挑戦していきたいと思っています」

――これからの100年に向けた抱負をお願いします

「都市がスマートシティー化していけば、廃棄物も自動で収集されるようになり、廃棄物回収という仕事も遠い将来には必要がなくなってしまうかもしれません。しかし、環境に関連した仕事は必ず求められます。楽観はできませんが、現実を見据えて準備しながら前向きに乗り切っていこうと思います。これからも大阪のまちを美しくする環境保全のエキスパートとして社員一同頑張ってまいります」

時代の変化に対応してリサイクル技術も進化

社員の声

前向きな雰囲気／人を大切にする

常務取締役・鷲尾直也さん

「本社がある新今宮駅周辺は星野リゾートが進出するなど変化があり、前向きな雰囲気で仕事ができることに感謝しています。100年という長い歴史を持つ企業に在籍していることを誇りにこれからも頑張ります」

営業部課長・小野博之さん

「簡単に機械で自動化できない仕事が多く、人を大切にしている会社だと思います。必要とされているからこそ、歴史を重ねることができたのだと思います。そのことを若い人にアピールしていきたいですね」

コロナ禍での対策も徹底し、大阪のまちの環境保全に努める

大阪のまちを守る

【感謝状の授受】

大阪市長より（昭和50年6月、60年9月、平成7年11月、18年2月）大阪府知事より（令和元年7月）大阪市環境事業局長より（平成12年6月）浪速交通安全協会より（令和元年11月）

【表彰状・功労賞の受章】

環境大臣より生活環境改善事業功労者環境大臣表彰（平成16年10月）公益社団法人大阪府産業資源循環協会より優良事業所表彰（令和元年6月）大阪府知事より環境衛生功労賞（平成10年11月、令和2年11月）

100年の歩み

大正10年4月	合同衛生社を創業 初代代表者に林武松が就任。
昭和20年10月	終戦後、ミナミ繁華街の廃芥処理業に着手
昭和31年12月	合同衛生協同組合に組織変更 代表者（2代目）に林俊造が就任
32年12月	なんなんタウン（現NANBAなんなん）開業に伴い、業務開始
38年11月	ウメダ地下センター（現Whityうめだ）開業に伴い、業務開始
41年7月	ドージマ地下センター（ドーチカ）開業に伴い、業務開始
42年3月	合同衛生株式会社を設立 代表取締役（3代目）に林秀夫が就任 大阪市浪速区に3階建て本社ビルを建設
43年1月	大阪市環境衛生行政に協力し、全車種を無蓋車からパッカー車に
11月	アベノ橋地下センター（あべちか）開業に伴い、業務開始
53年11月	なんばCITY第1期開業に伴い、業務開始
55年7月	代表取締役（4代目）に林和夫が就任
59年10月	大阪全日空ホテル・シェラトン（現ANAクラウンプラザホテル大阪）開業に伴い、業務開始
62年2月	近鉄百貨店阿倍野本店（現あべのハルカス）の業務開始
平成元年11月	南海サウスタワーホテル（現スイスホテル南海大阪）開業に伴い、業務開始
2年3月	京橋コムズガーデン開業に伴い、業務開始
3年5月	陸運局より自動車分解整備事業者の認証受け、自社車輌の車検および整備業務開始
8年3月	大阪シティエアターミナルビル（現OCAT）開業に伴い、業務開始
12年9月	Hoop開業に伴い、業務開始
15年10月	なんばパークス開業に伴い、業務開始
17年3月	代表取締役（5代目）に林博之が就任 国際規格ISO14001認証取得
20年1月	髙島屋の業務開始
23年3月	産業廃棄物処分業（大阪市）許可取得によりリサイクルセンターCombi開業
24年8月	株式会社コンビ設立
25年6月	あべのハルカス近鉄本店開業に伴い、作業開始
26年3月	あべのハルカス全面開業に伴い、業務開始
7月	本社新社屋竣工
27年4月	産業廃棄物の積替え保管を含むリサイクルセンターCombi第2工場開業
9月	特別管理産業廃棄物収集運搬業（大阪府）許可を取得
30年10月	大阪なんばスカイオの開業に伴い、業務開始

▷所在地　大阪市浪速区恵美須西3の16の41
▷設立　大正10年4月
▷従業員数　140人
▷事業内容　粗大ごみ・不用品の処分、廃家電の処分、店舗のごみ定期回収、産業廃棄物収集運搬および処分、資源のリサイクル
▷URL　https://www.godo-e.com

PR　<企画・制作>産経新聞社メディア営業局

合同衛生株式会社 100周年おめでとうございます

100th ANNIVERSARY

～いつも大阪の街を美しくしていただいてありがとうございます～

焼肉 明月館
福壽堂秀信
御菓子司 絹笠
カラオケ オアシス
道具屋筋 千田硝子食器
スポタカ
ヒルマンレストランジャパン
あじびるグループ
やぶ内時計舗
道具屋筋 ゑびすや金物店
千房
カフェ 英國屋
リバー産業
お酒 幸田
心斎橋ミツヤ
森下仁丹
美粧館 理髪館
魚萬珍味堂
アイスクリームの岸本久志商店
デリカ天寅
京丹波

（有志一同　順不同）